

水から身を守るすべを学ぶ

7月23日（月）、鶴田町B&G海洋センターで学童水泳大会終了後、鶴田町水泳協会（会長瀧谷悟）主催の「水辺の安全講習会」が開かれ、学童水泳大会に出場した児童20人が参加して、水の事故から自分の身を守る知識や技術を学びました。

講師は、全日本ライフセービング協会認定アドバンス・サーフ・ライフセイバーの斎藤俊史さん（妙堂崎・つがるライフセービングクラブ所属）が努め、児童たちは、ライフジャケット（救命胴衣）の着方や水中でライフジャケットを着るテクニック、水上で輪になり遭難を防ぐ方法、レジ袋などで浮き袋を作る方法などを教わりました。

参加した児童は「ライフジャケットがこんなに大切な物だとは知らなかった」と感想を述べ、救命胴衣の大切さを改めて知りました。

皆さんも水の事故には十分に気を付けてましょう。



水上で輪をつくり遭難防止の方法を学ぶ児童たち（写真左が斎藤さ



7/24 人権擁護委員を長年務めた菊地勝敏氏に法務大臣からの感謝状が伝達される

7/24 国際交流員が退任、退庁の際に職員が見送りました

7/21 夏祭りにさわやかな町通り



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（専22-2111 内線263）

コミュニティ助成事業で備品を購入

鶴田町太鼓の会では、「丹頂太鼓」および「五ツ太鼓」に取り組み、地元小学校児童に和太鼓の指導したり、「桜まつり」や「つるたまつり」のほか、町のさまざまなイベントに参加するなど積極的に活動しています。

このたび町では、財団法人自治総合センターが宝くじの販売益を活用して実施している「コミュニティ助成事業」を受け、新たに五ツ太鼓8組、太鼓用バチ20組、五ツ太鼓用衣装20組、丹頂太鼓用衣装20組を購入しました。

今後は、太鼓に興味のある仲間を増やしながら、更なるコミュニティ活動が活発に行われることが期待されます。



△今回購入した物品

・右／五ツ太鼓 ・左上／丹頂太鼓用衣装 ・左下／五ツ太鼓用衣

町に小学生用の英語教材を寄贈

7月11日（水）、鶴田町建設協会（松山淳会長）の皆さんのが町の子どもたちの英語教育と学力向上に役立ててほしいと、英語教材84点（約22万円相当）を町に寄贈しました。

町長室で行われた寄贈式には、小笠原教育長と木村恵子英語教育推進委員長（菖蒲川小学校長）が同席し、松山淳会長、須郷守夫副会長の2人から中野町長に教材と目録が手渡されました。

贈呈式で中野町長は「国際交流を一層進め、世界に羽ばたく人材を育てていくのに役立てたい」とお礼の言葉を述べ、松山会長からは「協会がある限り、町の英語教育を支援して行きたい。」と意欲が語られていました。



△目録を中野町長に手渡す松山会長（左／須郷副会長・右／木村校長）

交通安全決起大会が開かれる

7月19日（木）、夏の交通安全週間に合わせ、役場町民プラザで「鶴田町交通安全決起大会」が行われ、町の22団体から約250人が参加して交通安全を誓い合い、町民に交通安全を呼び掛けました。

大会セレモニーでは五所川原警察署長の激励や中央保育所の園児たちによる鼓笛隊演奏、町老人クラブ会長藤田澄江さんと菖蒲川小学校6年齋藤俊介君による決意表明で「一、シートベルトを締め飲酒運転は絶対しません。二、自転車は左端通行し、危険運転は絶対しません。三、歩く時は右側を歩行し、交差点では安全確認して横断します」と力強く宣言しました。

セレモニー終了後は、参加者全員で交通安全のメッセージが書かれたプラカードを掲げ、町内を巡回パレードして町民に交通安全を呼び掛けました。



①決意表明を述べる藤田会長と菖蒲川小の齋藤俊介②中央保育所ミニカラーガード＆鼓笛隊③先頭で横断幕を持つ菖蒲川小学校の皆さん④参加者の皆さん

陰山英男先生が講演

8月4日（土）、鶴田中学校体育館で「鶴田町学力向上推進フォーラム」が開催され、「親子で向上 必ず伸びる学習法」を演題に、立命館大学教育開発推進機構教授 陰山英男氏による講演会が開かれました。町での陰山先生の講演は今回を含め3回目。

講演会で陰山先生は、今回もスライドを交えて学力アップのポイントを分かりやすく教えてくださいました。



・聞くだけでは脳が活動しない、大切だと思ったらすぐ書くクセをつけて脳を活性化させようと説く陰山先



・鶴田中学校全生徒、管内教師、父母合わせて600人が先生の講演を聴講